

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(休暇村リトリート安曇野ホテル)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇給、昇格、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築しています。また、相談窓口は施設内(支配人・管理担当課長)と、施設外(本部総務部担当(女性)へ直通)に設置し、関係者のプライバシーを守る体制を構築しています。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記しています。 相談窓口は施設内(支配人・管理担当課長)と、施設外(本部総務部担当(女性)へ直通)に設置し、関係者のプライバシーを守る体制を構築しています。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容を管理職会議で共有しています。 ・長時間労働は正のための労働生産性の改善、時間管理のための面談を行っています。							8.5 8.8											
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・外国籍を有する職員は、帰国休暇[一年度1回、上限7日間]取得等、外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っています。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3										
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・毎月10日を安全一斉点検日とし、事前に事故を防止するための安全面・衛生面の整備点検を毎月1回必ず実施しています。			3				8											
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年1回のヘルスチェックを実施し、必要に応じ随時面談等を行っています。			3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が活躍できる社内チャレンジ制度を設けています。 ・多様な人材が活躍できるよう募集要項に規制を設けていません。				5.1 5.5			8.5	10.2 10.3										
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・研修派遣制度 転勤せずに一定期間を自身の勤務地とは異なる他の休暇村で勤務でき自身の勤務地の魅力に課題の再発見できる機会を提供しています。 ・支笏湖サービススクール 北海道にある休暇村で、全国で唯一のサービストレーニング機関として、サービスレベルアップ研修の機会を提供しています。			4	5.5			8	9										
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っています。				5.5			8.5	10.2 10.3										
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・定期健康診断の受診を推奨し、診断後の再検査対象者については再受診を促しています。			3				8											
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の排出量を把握するため、毎月、回収業者より一覧表の提出を依頼している。(環境に配慮した取組(年/2回))として「見える化」。把握・分析するよう努めています。														11.6	12		14.1	
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・「環境に配慮した取組(年/2回)」として本部へ「エネルギー」使用料の報告を行い、当施設またグループ全体の数値を「見える化」。把握・分析するよう努めています。 ・長野県環境部環境政策課 セロ一パン「推進室省エネ」係による省エネ診断を実施、結果を基にアドバイスを頂きながら省エネに取り組んでいます。								7.3							13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・「環境に配慮した取組(年/2回)」として本部へ排出量の報告を行い、当施設またグループ全体の数値を「見える化」。把握・分析するよう努めています。						7.2 7.3							12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・GPNエコチャレンジチックシートを活用しながら、当施設またグループ全体での状況を確認し、抑制また適切な使用に努めています。				3.9		6.3							11.6	12.4				

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
						1 1% Habitat	2 2% Climate	3 3% Biodiversity	4 4% Industry	5 5% Innovation	6 6% Infrastructure	7 7% Jobs	8 8% Industry	9 9% Innovation	10 10% Infrastructure	11 11% Jobs	12 12% Industry	13 13% Innovation	14 14% Infrastructure	15 15% Jobs	16 16% Industry	17 17% Innovation	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・「環境に配慮した取組(年/2回)」として本部へ報告を行い、保全に努めています。							6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・「環境に配慮した取組(年/2回)」として本部へ報告を行い、3Rの推進に努めています。 ・GPNエコチャレンジチックシートを活用しながらプラスチック使用の抑制を推進しています。														13	14.1			
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			「環境に配慮した取組(年/2回)」として本部へ報告を行い、当施設またグループ全体の数値を「見える化」。把握・分析するよう努め、使用量削減を推進しています。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ								3.9		6	7						12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	・グループ全体として実施している「環境に配慮した取組(年/2回)」による情報開示を検討していきます。														12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・設備投資が必要なため、短期的な設備投資は難しい状況だが、自社努力して重油使用量の削減を進めながら、中長期的に自然エネルギー(太陽熱・バイオマスボイラー)の導入を検討していきます。						7.2								13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・館内暖炉、屋外暖炉とともに、廃材の薪、地元のお米の粉殻を圧縮して作ったモミガライトという製品を調達しています。 ・非法木材を使用していないことの確認を行っています。													12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止し、社内のチェック体制を構築しています。 ・定期的な社内研修会を行なが防歟に努めています。															16	16.5		
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を禁じ社内のチェック体制を構築しています。 ・定期的な社内研修会を行なが防歟に努めています。																16		
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・著作権や肖像権等の権利について社内でのチェック体制を構築し侵害防歟に努めています。 ・弊財団のロゴマーク及び協会名を外部で使用する際には、社内規則を設けながら管理をしています。						8.2 8.3	9											
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・顧客情報、従業員情報の管理、SNS等のソーシャルメディアに対しガイドラインを設ける等、社内規定を定め整備しています。また、定期的な社内研修も行っています。															16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・紛争鉱物の取扱いがないことを確認しています。																16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に	チャレンジ			・下請法を遵守し、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響となる取引の防止、倫理面での適切な対応に努めています。				5		8	10		12	13	14	15	16	17				
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。		3					8	9	10							17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
自然とのふれあいの推進		・休暇村周辺の自然を紹介する自然観察会や学習会、野外でのレクレーション活動など、多様な自然体験・学習の場を提供しています。 ・自然公園の自然環境や地域の歴史・文化・産業を紹介し、これらを訪ねる小旅行を企画するなど、地域のエコツーリズム推進を図っています。			3						9		11	12					
環境に配慮した行動		・休暇村で使用する営業用の物品は、エコマークその他の環境に配慮した商品を優先し、グリーン購入を進めています。 ・お客様や取引先のご協力を得ながら、廃棄物の発生抑制とリサイクルを進めています。 ・エネルギー使用の合理化、省エネ型機器の採用など、光熱水の削減を図っています。 ・休暇村の建物は、自然公園の景観に調和した形状、色彩とするように心掛けるとともに、環境負荷の少ない設備や、ロングライフ施設の整備に努めています。		2	3			6	7				11	12	13	14	15		
地域への貢献		・自然公園管理機関や地元諸団体と連携して、地域の環境保全や観光振興の活動に積極的に参加しています。 ・環境関係団体に活動の場を提供するなど、地域の環境保全活動に協力しています。									9								
取組の体制整備と公表		・各部と連携をとりつつ、環境保全担当部が中心となり、取組みの定期的な点検と改善を進めています。 ・職員に対する教育研修を継続し、取組の徹底と環境意識の高揚を図っています。・以上の方針に基づく取組の状況は、毎年度取りまとめて、公表します。												12		15			

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定